

☆ 空港のおしごと紹介 ☆

第3回 RunWay Check(滑走路点検)

- 空港管理事務所では、安全運航のため、空港の運用時間前及び定時又は航空機の離発着前にランウェイチェック（滑走路点検）を行っています。
- ランウェイチェック（滑走路点検）の主要な目的は2つあります。
 - ① 滑走路に異物がないか。舗装路面に異常はないか。
 - ② 照明施設は正常に点灯しているか。（球切れがないか。）

※それだけではありません。他にも重要任務があります。
じっくり、ご覧ください。

【ランウェイチェック(滑走路点検)開始】





灯火の点灯状況も確認します。



これも空港灯火です。

様々な灯火がきちんと点灯しているか確認します。



滑走路中心線灯に不具合があったため調整中です。



滑走路端部から900mある進入灯は歩いて確認を行います。



鳥が空港内や近くの上空にいた場合には、直ちにスターターピストル等で威嚇し、追い払います。



ランウェイチェック（滑走路点検）が完了したら点検結果を関係機関に連絡します。

- 点検結果は管制官（又は情報官）によって直ちに航空無線でパイロットに伝えられます。**（パイロットにとって、とても重要な地上の情報です）**
- 「ランウェイクリア（滑走路異常なし）」でなければ、その状況によっては、パイロットは、「クリアになるまで上空で旋回して待機」、「着陸断念（他空港に着陸：リターンorダイバート※1）」を判断することになります。

※1 リターン：出発空港に引き返すこと
 ダイバート：目的空港以外に着陸すること



滑走路が終わると空港周りの場周柵付近を含め、場内に異常がないか点検します。



ゲートの施錠や場周柵に異常がないか確認します。



場周柵の下に動物が掘った穴を発見しました。



また動物が入ってこないように穴を埋めます。

- ランウェイチェックでは、航空機の安全な離着陸のための滑走路、照明施設、誘導路、エプロンの点検は最重要ですが、制限区域内（セキュリティーゾーン）への不審者の侵入を防止することも重要な職務となっています。
- 空港管理事務所職員は、常に航空機が安全に離着陸できる状況にあるために、空港施設の維持・管理・点検、異常発見時の早急な対応のために、365日（急患輸送等を含めると24時間）職務に従事しています。

おわりに！

- 空港は、航空会社・地上支援会社・給油会社・貨物会社・ターミナルビル会社・航空局・気象台・空港管理事務所等々の職務によって運営されています。
- 利用者の方からは、裏方の仕事は直接は見えませんが、「命を運ぶ責任、使命」に懸命に従事していることを少しでもご理解いただけたらうれしく思います。

「Good Day！」

【「さようなら」「またね」「よい一日を」「元気でね」(´-`) / 等の意味・・・TVドラマ 東京エアポート - 深田恭子のセリフより】

県内3空港の滑走路と航空灯火の写真

【出雲縁結び空港】



07(西)側からの滑走路&灯火



25(東:宍道湖)側からの滑走路&灯火

【萩・石見空港】



11(西)側からの滑走路&灯火



29(東)側からの滑走路&灯火

【隠岐空港】



08(西)側からの滑走路&灯火(昼間)



26(東)側からの滑走路&灯火(昼間)



08(西)側からの滑走路&灯火(夜間)



26(東)側からの滑走路&灯火(夜間)